

松阪市教育ビジョン「学校教育の基本理念」2026年度～
「夢を育み 未来を切り拓く 松阪の人づくり」

I 学校教育目標

「ときどき!」「わくわく!」ともに学び合い、きらっと輝こう
～ Smile Challenge Respect ～

【めざす学校像】

自らの人生を舵取りすることをめざして

子どもが自分で決められる場面の多い学校
校（自己決定）

- 学ぶ楽しさとわかる喜びに満ちた学校
- 授業を大切にし、子どもたちが意欲的に学び合う学校
- 自分に自信を持ち、なかまを思いやることができる学校
- 安心・安全で、子ども・保護者・地域から信頼される学校

【めざす子ども像】

「なりたい自分になるために」
（目的意識）

- ともに学び、自ら学ぶ子ども
（確かな学力の向上）
- 自分となかまを大切に子ども
（豊かな心の育成）
- 心身ともに健康な子ども
（健やかな心身の育成）

【めざす教職員像】

子どもに寄り添う教職員
「好き」を育み「得意」を伸ばす

- 情熱を持ち、元気に子どもと向き合う教職員
- 「チーム第一」で、お互いに助け合い、支え合う教職員（ありがたい言葉で笑顔あふれる職員室）
- 心身ともに健康で楽しく働く教職員

II 重点目標

- (1) わかる授業の充実と確かな学力の向上を図る。(2) 自分となかま、人権を大切にする教育を推進する。
- (3) 健やかな心と身体の育成をめざす。
- (4) 子どもにとっても、教職員にとっても楽しく、安心・安全な学校づくりを行う。

III 具体的な取組と目標

(1) わかる授業の充実と確かな学力の向上を図る

【わかる授業の充実】

①子どもの関心と意欲を育て、課題解決の過程を大切に授業づくり、自ら舵取りすることを意識した授業づくりに取り組む（自分で考え・試行）

②聴き合い学び合いを大切に、主体的・対話的で、学びを深めることができる子どもを育てる

④授業研究を充実し、「わかる・できる」学ぶ喜びに満ちた授業実践（授業改善）に努める

【学力の向上】

①一人ひとりに基礎学力と活用力を身に付けさせる（確かな学力）

②家庭と共に読書活動を充実する（読書室ボランティア等との連携）

③自ら学び、わかり合う子の育成

④地域の歴史、自然、文化等、を活用する。

(2) 自分となかまを大切にする教育を推進する（協同性）

①友だちの思いを聞き、受けとめることができる

②自分の思いを素直に語ったり、話したりできる

③自分の存在が認められ、他人のことが考えられるなかまをつくる

④日記や作文をつづること、家庭訪問等を通して、子どもの生活背景をつかみ、保護者と連携しながら子どもの成長を育む

⑤「人権教育推進のための第一小学校行動計画」をもとに人権教育の推進を図る。

⑥特別支援学級在籍児童。すずかぜ教室在籍児童への支援を充実する。

⑦通常学級で特別な支援の必要な児童への支援を充実する。

⑧様々な活動を通して、国際理解教育を推進する。

⑨情報活用能力を育成し、情報モラルの充実を図る。

⑩龍神太鼓の活動を通して、命を大切に、なかまとつながり、自分を表現する喜びを持つ子どもの育成をめざす。

(3) 健やかな心と身体の育成をめざす

①基本的な生活習慣と規範意識を身に付け、命を大切に安心・安全な楽しい学校生活を送る（誰もが溶け込んでいる学校・学級）

②学校保健の充実を図る

(4) 子どもにとっても、教職員にとっても楽しく、安心・安全な学校づくりを行う。心理的安全性の高い職場

①大人も子どもも気持ちよく挨拶のできる学校にする。

②ハラスメント、不適切なかかわりのない学校にする。

③教職員の時間外労働時間の短縮